

3年生の皆様へ

2020. 4. 14

看護学科長
佐藤みつ子

世界的に新型コロナウイルス感染症が拡散し、終息の予想がつかない現状において、皆様の健康を守ることを第一にとの千葉県の要請を受けて大学が休校を決定しました。早く終息するために、3年生の皆様、ひとりひとり新型コロナウイルス感染症対策や健康管理（石鹸による手洗い・手指消毒・混雑した場所を避ける・十分睡眠をとる等）を心がけて下さい。

現状では、対面授業ができないため、皆様には、学生 Web 掲示板を用いて、在宅での自己学習の「課題」をお知らせします。計画的に「課題」に取り組み、学習を進めて下さい。提出された「課題」の内容を確認し、出席時間や単位の認定に反映させることもあります。

自宅で学習している3年生の皆様へいくつかメッセージを贈りたいと思います。

1. 前期の専門知識の上に、後期の領域別の看護学実習が成り立っている。

- ・基礎看護学実習を体験し、自分はどのくらい看護ができたかを振り返って下さい。
病態生理や疾患・治療の理解はどうか？
看護過程の展開はどうか？ 患者に合った看護の展開はできたのか
患者とのコミュニケーションはどうだったのか
- ・新たな看護方法（成人Ⅱ・精神・小児・母性・高齢者の各看護方法論）を予習するとともに、課題にきちんと取り組んで下さい。

2. 看護を実感し、考える機会となる看護学実習

- ・後期は、長期にわたる専門領域別の実習があります
- ・医療職者になる者として体調管理をして下さい
それぞれの講義・演習・実習を通して、専門的知識を深め、最終学年における統合化に向けて、準備することを目的としています。
特に、後期の小児看護から高齢者看護、在宅看護等、領域別の実習があります。
この実習をクリアできるように、確かな知識、技術を身につけてほしいと思っています。

最後に、医療に携わる者として、中途半端な気持ちではなく、しっかり、勉学に励んで下さい、再度、自分は、どんな看護師、保健師になりたいのかこの機会に考えて下さい。

3年生 課題学習

第108回看護師国家試験（必修問題）をやってみよう！

以下の厚生労働省 URL より看護師国家試験問題（過去問）がダウンロードできます。

第108回看護師国家試験問題より午前問題、午後問題をダウンロードしてください。

午前、午後とも1～25は必修問題です。

必修問題（午前・午後計50問）を解きましょう。（問題数を決めてコツコツ行くと良いでしょう）

50問全てを解き終わったら答え合わせを行います。

間違った問題をノートに書き起こし、解説をして学習してください。解説の出典を明らかにしてください。ノート提出先、提出日はガイダンスにてお知らせします。

5月7日までに行ってください。

第108回看護師国家試験問題

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/topics/tp190415-03_04_05.html



ノート記載例：(例なので、自分が見直しする時に使いやすいように工夫してください)

第109回午前問題

【6】 児の吸綴刺激によって分泌が亢進し、分娩後の母体の子宮筋の収縮を促すのはどれか

1. オキシトシン
2. プロラクチン
3. テストステロン
4. プロゲステロン

解答 1

授乳による吸綴刺激がプロラクチンやオキシトシンの分泌を高める。プロラクチンは乳汁産生と分泌に作用し、オキシトシンは筋収縮に作用する。よって、オキシトシンは子宮筋にも作用し、収縮を促進する。 出典：系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 P339

3学年 アドバイザー

課題に対する連絡先 アドバイザーリーダー: 森田桂子 (morita@ryotokuji-u.ac.jp)

3年生課題：母性看護方法論

以下の内容について調べてレポートしなさい。

提出は母性看護方法論1回目の授業日の予定です（詳細は追って連絡します）。

レポートは、評価の対象とします。シラバス評価方法・基準の通り提出物30%に含みます。

1. 母性の心理・社会的特性（母性看護学概論 P10～、P168～172 参照）についてまとめなさい。
2. 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化についてまとめなさい。
 - ・生殖器の形態・機能（女性）（母性看護学概論 P97～102 参照）
 - ・女性生殖器の機能（母性看護学概論 P103～108 参照）
 - ・妊娠と胎児の性分化（母性看護学概論 P110～116 参照）
3. 自分の出身地の母性に関わる社会資源の項目と内容について調べなさい。

母性看護方法論 科目責任者 森田桂子
morita@ryotokuji-u.ac.jp

3年生 休校中の課題：成人看護学

1. 成人各期（青年期、壮年期、向老期）の発達段階と発達課題
 2. 成人各期の身体的、精神的、社会的特徴
 3. 検査データの基準値と意味
 - ・血液検査（血算、血液凝固、生化学、腫瘍マーカーなど）
 - ・尿検査
 - ・生理機能検査（心電図、呼吸機能検査など）
 4. フィジカルアセスメント
 - 1) 呼吸：呼吸音の聴診法、正常呼吸音の特徴、異常呼吸音と意味する状態、打診と得られた情報と意味する状態など
 - 2) 循環：心音の聴診法、各聴診場所とその解剖学的位置、正常心音の特徴、異常心音と疾患とのつながりなど
 - 3) 消化管：腸蠕動音の聴診法、正常の腸蠕動音とその特徴、異常な腸蠕動音、打診法とその意味する状態、触診法（腹水の鑑別、腹部膨満の鑑別など）など
 - 4) 筋骨格系：徒手筋力テスト（MMT）の測定方法、関節可動域（ROM）など
 - 5) 意識：意識状態の確認法、瞳孔の確認法と意味する状態など
 5. 症状の理解
 - 1) 浮腫の発生機序と観察
 6. グループダイナミクスについて
 - 1) グループダイナミクスとはレポートにまとめる。
文字ポイント 10.5 文字数 40×40 表紙に表題と氏名及び、学籍番号を明記
 - 2) メンバーの役割とは何か・・・自らの考えをまとめる。
 - 3) リーダー役割とは何か・・・自らの考えをまとめる。
- ※上記5－1)については、出典を記載しましょう。

2020. 4. 13（月）

文責：齋藤みどり

連絡先：m-saito@ryotokuji-u. ac. jp

「精神看護方法論」 課題

提出日	5月14日(木)2限目 「第1回 精神看護方法論」
様式	A4(枚数の制限なし) 手書き, wordとも可 表紙をつけること(タイトル, 学籍番号, 氏名, 提出日を記載)
注意事項	作成した課題はコピーを1部とり、原本は本人が保管、コピーを提出する。 ※ この課題は「精神看護学実習」の事前課題にもなる。原本は各自で責任を持って保管すること。
課題内容	<p><u>課題：精神科治療の副作用としての身体症状</u></p> <p>教科書Ⅱp.86-87 および p.337-345 を読み、以下の<u>症状と原因</u>をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">・肺血栓塞栓症・誤嚥性肺炎・錐体外路症状・悪性症候群・水中毒・麻痺性イレウス <p>※ 分からない単語や用語は各自で調べたうえ、課題をまとめること。</p> <p>※ 教科書が手元にない人はインターネットや他のテキスト等を参考に調べる。引用する場合は出典を必ず明記すること。</p> <p>※ 質問等の連絡先は higuchi@ryotokuji-u.ac.jp (樋口) まで。</p>

3年生 小児看護方法論課題

『乳児期・幼児期の成長・発達の特徴』について教科書（小児看護学概論 小児臨床看護総論）等を参考に以下の内容についてまとめてください。

1. 乳児期

1) 形態的特徴

① 体重、身長が、出生時から1年でどれくらい増加するか。

② 頭位の増加と大泉門の変化の様子、閉鎖に至るまで、また、大泉門を観察して分かること。

2) 身体生理の特徴

呼吸機能、脈拍・心拍、血圧、体温、血液、咀嚼・消化機能、水分代謝、神経系、免疫系

3) 感覚機能

視覚、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚・触覚

4) 運動機能

首のすわり、寝返り、おすわり、ひとり歩き、手先の運動

5) 知的機能・コミュニケーション機能・情緒・社会機能

2. 幼児期

1) 形態的機能

体重身長がどれくらい増加するか。

2) 身体生理の特徴

呼吸機能、脈拍・心拍、血圧、体温、血液、咀嚼・消化機能、水分代謝、神経系、免疫系

3) 運動機能

4) 知的機能

5) コミュニケーション機能

6) 情緒・社会機能：遊び中心にまとめる。

7) 日常生活と自立の世話：排泄、食事、睡眠、衣服、清潔

課題についての問い合わせ担当教員：塩田 (shioda@ryotokuji-u.ac.jp)

提出期限：「小児看護方法論」学内での授業初日5月13日（水）3限

評価：授業参加度（シラバス参照）に含めます

2020年4月14日

2020年度前期 「在宅看護方法論」を履修予定の皆さん

第1回 課題

在宅看護方法論

科目責任者 齊藤敦子

第1回の課題を下記の通り提示致します。

A4の用紙(白)・縦・横書きで下記内容を記載してください。様式は自由とします。在宅の教科書(概論で使用したもの)等を利用してください。自宅に教科書がない学生は、他の資料等を参考にしてもかまいませんが、インターネット等のそのままの転写(コピー)は、不可とします。手書きかWordを利用して、自身で書いてください。ページ数の制限はありませんが、必要な内容が網羅されるようにしてください。

- 1 日本での3大脳血管疾患とは、何でしょうか。疾患名を3つ書き、それぞれの病態の特徴をまとめてください。
- 2 脳血管疾患の原因について論述してください。
- 3 脳血管疾患の症状(予後を含む)について論述してください。
- 4 上記1~3を踏まえ、脳血管疾患のために障害がある在宅療養者(家族も含む)へ必要な看護についてその特徴がわかるように論述してください。

【注意事項】

- ・提出の全ての用紙の右上に学籍番号と氏名を記載してください。
- ・表紙は、必要ありません。
- ・用紙の両面を利用してもかまいません。
- ・複数枚となる場合は、左上をホチキスで留めてください。
- ・提出期限：登校が可能となった初日(予定は5月7日)の14時35分まで
- ・提出先：1階事務局前提出用ボックス
- ・評価：在宅看護方法論の成績・評価に加味します。

以上